

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月14日
【四半期会計期間】	第71期第1四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	フリージア・マクロス株式会社
【英訳名】	FREESIA MACROSS CORPORATION
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 奥山 一寸法師
【本店の所在の場所】	東京都千代田区外神田六丁目8番3号
【電話番号】	03 - 5818 - 1522（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 篠崎 温儀
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区外神田六丁目8番3号
【電話番号】	03 - 5818 - 1522（代表）
【事務連絡者氏名】	経理部長 篠崎 温儀
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第70期 第1四半期連結 累計期間	第71期 第1四半期連結 累計期間	第70期
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日	自平成24年4月1日 至平成25年3月31日
売上高 (千円)	2,147,916	2,156,033	11,906,586
経常利益又は経常損失() (千円)	69,911	19,114	522,721
四半期(当期)純利益又は四半期純 損失() (千円)	72,715	16,111	76,458
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	100,570	22,479	290,953
純資産額 (千円)	6,598,236	6,959,024	6,989,934
総資産額 (千円)	15,614,889	15,174,450	15,678,809
1株当たり四半期(当期)純利益金 額又は1株当たり四半期純損失金額 () (円)	0.16	0.04	0.17
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	28.6	30.6	29.6

(注) 1 売上高には、消費税等は含まれておりません。

2 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

3 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については、記載しておりません。

2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の経済・金融政策に対する期待感により円安の進行、株価上昇が続く景気回復の兆しが見られたものの、消費税増税等による将来的な影響への不安は依然として拭えない状態が続いており、先行きが不透明な状況にあります。

かかる情勢の下での当グループの経営成績は、売上高は、2,156百万円と前年同四半期に比べ8百万円(0.4%)増加しました。また営業損失は、15百万円(前年同四半期営業損失49百万円)、経常利益は、19百万円(前年同四半期経常損失69百万円)、四半期純利益は、16百万円(前年同四半期純損失72百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

製造供給事業

本事業においては、押出機等の販売は順調に推移したものの、回復が遅れているプリント基板の受注減少を補うまでとはならず、売上高は542百万円と前年同四半期に比べ94百万円減少し、セグメント損失は、31百万円(前年同四半期セグメント損失63百万円)となりました。

住宅関連事業

本事業においては、マンション販売戸数の増加により、売上高は1,545百万円と前年同四半期に比べ99百万円増加しました。また、広告宣伝等を積極的に行ったため、セグメント損失は19百万円(前年同四半期セグメント損失7百万円)となりました。したがって、当該事業は比較的堅調に推移しており、通期においては計画通りに推移するものと想定しております。

投資・流通サービス事業

本事業においては、売上高は133百万円と前年同四半期に比べ2百万円増加し、セグメント利益も、41百万円と前年同四半期に比べ6百万円の増加となり、今後も堅調に推移するものと想定しております。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ504百万円減少し、15,174百万円となりました。主な要因は、現金及び預金等が減少したことなどによります。

また、負債は、前連結会計年度末に比べ、473百万円減少し、8,215百万円となりました。主な要因は、未払金等が減少したことなどによります。

この結果、純資産は前連結会計年度末に比べ30百万円減少し、6,959百万円となりました。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	1,800,000,000
計	1,800,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年8月14日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	450,993,208	450,993,208	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数 1,000株
計	450,993,208	450,993,208	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高 (株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金増 減額 (百万円)	資本準備金残 高(百万円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	450,993,208	-	2,077	-	973

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 849,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 449,274,000	449,274	(注1)
単元未満株式	普通株式 870,208	-	(注2)
発行済株式総数	450,993,208	-	-
総株主の議決権	-	449,274	-

(注)1 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式2,420,000株が、「議決権の数」の欄には、証券保管振替機構名義の議決権の数2,420個がそれぞれ含まれております。

2 「単元未満株式」には、当社所有の自己株式619株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
フリージア・マクロス(株)	東京都千代田区外神田6-8-3	849,000	-	849,000	0.18
計	-	849,000	-	849,000	0.18

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1 四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、清流監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,290,826	467,663
受取手形及び売掛金	1,420,492	1,351,613
たな卸資産	3,888,997	3,657,968
短期貸付金	323,329	319,514
繰延税金資産	40,767	53,135
その他	777,149	1,349,909
貸倒引当金	25,265	34,024
流動資産合計	7,716,297	7,165,779
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,485,100	2,523,736
機械装置及び運搬具	644,409	645,480
土地	3,926,307	3,965,257
建設仮勘定	14,922	28,327
その他	146,769	128,902
減価償却累計額	2,043,828	2,077,299
減損損失累計額	230,302	230,302
有形固定資産合計	4,943,379	4,984,101
無形固定資産		
借地権	323,595	323,595
その他	28,779	28,606
無形固定資産合計	352,374	352,201
投資その他の資産		
投資有価証券	32,723	32,786
関係会社株式	1,947,065	1,972,309
長期貸付金	36,067	32,776
差入保証金	482,706	458,148
繰延税金資産	9,096	8,072
その他	178,353	178,068
貸倒引当金	19,255	9,793
投資その他の資産合計	2,666,757	2,672,367
固定資産合計	7,962,511	8,008,670
資産合計	15,678,809	15,174,450

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,620,196	1,503,296
短期借入金	1,369,788	1,590,072
1年内返済予定の長期借入金	773,621	727,533
1年内償還予定の社債	46,000	166,000
未払金	844,192	562,146
未成工事受入金	230,919	210,270
未払法人税等	166,828	89,608
完成工事補償引当金	49,822	46,125
賞与引当金	24,780	60,150
繰延税金負債	2,716	221
その他	543,195	559,738
流動負債合計	5,672,062	5,515,164
固定負債		
社債	264,000	131,000
長期借入金	1,740,687	1,782,662
繰延税金負債	157,440	158,586
退職給付引当金	8,474	8,587
負ののれん	173,962	170,627
その他	672,247	448,796
固定負債合計	3,016,812	2,700,261
負債合計	8,688,875	8,215,425
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,077,766	2,077,766
資本剰余金	973,803	973,803
利益剰余金	1,658,752	1,666,497
自己株式	18,350	18,355
株主資本合計	4,691,971	4,699,712
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	53,534	55,453
その他の包括利益累計額合計	53,534	55,453
少数株主持分	2,351,496	2,314,765
純資産合計	6,989,934	6,959,024
負債純資産合計	15,678,809	15,174,450

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	2,147,916	2,156,033
売上原価	1,377,089	1,415,080
売上総利益	770,826	740,953
販売費及び一般管理費	820,636	756,673
営業損失()	49,809	15,720
営業外収益		
受取利息	701	492
受取配当金	464	803
負ののれん償却額	5,476	5,476
持分法による投資利益	-	40,101
その他	20,181	19,708
営業外収益合計	26,824	66,581
営業外費用		
支払利息	24,715	22,260
持分法による投資損失	6,156	-
その他	16,053	9,485
営業外費用合計	46,925	31,746
経常利益又は経常損失()	69,911	19,114
特別利益		
固定資産売却益	-	299
特別利益合計	-	299
特別損失		
関係会社株式売却損	18,140	-
特別損失合計	18,140	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	88,052	19,414
法人税、住民税及び事業税	27,299	52,690
法人税等調整額	13,554	12,715
法人税等合計	13,745	39,974
少数株主損益調整前四半期純損失()	101,797	20,560
少数株主損失()	29,082	36,671
四半期純利益又は四半期純損失()	72,715	16,111

【四半期連結包括利益計算書】
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失()	101,797	20,560
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,189	40
持分法適用会社に対する持分相当額	1,962	1,959
その他の包括利益合計	1,227	1,919
四半期包括利益	100,570	22,479
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	74,812	14,191
少数株主に係る四半期包括利益	25,758	36,670

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 保証債務

連結会社以外の会社の金融機関等からの借入に対し、債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
マツヤハウジング㈱	160,000千円	-	-千円

2 受取手形割引高

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)		当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形割引高	563,017千円		577,518千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	46,242千円	38,024千円
のれんの償却額	17,546千円	2,141千円
負ののれんの償却額	5,476千円	5,476千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	22,507	0.05	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり配 当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	22,507	0.05	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	製造供給事業	住宅関連事業	投資・流通 サービス事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	634,448	1,427,913	85,554	2,147,916
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,092	18,115	44,611	65,819
計	637,540	1,446,029	130,166	2,213,735
セグメント利益又は損失()	63,915	7,711	34,933	36,693

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	36,693
セグメント間取引消去	4,430
のれんの償却額	17,546
四半期連結損益計算書の営業損失()	49,809

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	製造供給事業	住宅関連事業	投資・流通 サービス事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	540,385	1,531,349	84,299	2,156,033
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,487	13,688	48,853	65,028
計	542,872	1,545,037	133,152	2,221,061
セグメント利益又は損失()	31,943	19,190	41,581	9,552

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	9,552
セグメント間取引消去	4,025
のれんの償却額	2,141
四半期連結損益計算書の営業損失()	15,720

3 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
 該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期純損失金額及び算定上の基礎は以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額又は1株当たり四半期 純損失金額()	0円16銭	0円4銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額又は四半期純損失金額() (千円)	72,715	16,111
普通株式に係る四半期純利益金額又は四半期純 損失金額()(千円)	72,715	16,111
普通株式の期中平均株式数(千株)	450,149	450,143

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月14日

フリージア・マクロス株式会社
取締役会 御中

清流監査法人

代表社員	公認会計士	安田 裕	印
業務執行社員	公認会計士	加悦正史	印
業務執行社員	公認会計士	梶山貴規	印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフリージア・マクロス株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フリージア・マクロス株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。